



平成20年度(平成21年3月期)

# 決算説明会

平成21年5月12日

塩野義製薬株式会社

代表取締役社長 手代木 功



塩野義製薬株式会社

## 将来見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。  
また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



# 平成20年度 決算の概要

# 経営成績(連結・単体)

(単位:億円)

	20年度 実績	19年度 実績	対前年 UP率%	増 減
<b>&lt;連結&gt;</b>				
売上高	2,275	2,142	6.2	133
営業利益	320	403	△ 20.8	△ 83
経常利益	320	398	△ 19.7	△ 78
当期純利益	156	250	△ 37.5	△ 94
<b>&lt;単体&gt;</b>				
売上高	2,067	2,010	2.9	57
営業利益	362	363	△ 0.4	△ 1
経常利益	379	372	1.8	7
当期純利益	238	224	6.2	14
<b>年間配当金</b>	<b>28円</b>	<b>22円</b>		

## 財政状態およびキャッシュフローの状況(連結)

	21年3月期 実績	20年3月期 実績	(単位:億円) 増減
<b>&lt;財政状態&gt;</b>			
総資産	5,018	4,137	881
純資産	3,100	3,422	△ 322
自己資本比率	61.7%	82.7%	△21.0%
1株当たり純資産	924円	1,020円	△ 96円
	20年度 実績	19年度 実績	増減
<b>&lt;キャッシュ・フローの状況&gt;</b>			
営業活動によるC/F	291	156	135
投資活動によるC/F	△ 1,490	△ 53	△ 1,437
財務活動によるC/F	1,052	△ 171	1,223
計	△ 160	△ 69	△ 91
現金等期末残高	515	676	△ 161

## セグメント別売上高(連結)

(単位:億円)

	20年度 実績	19年度 実績	対前年 UP率%	増 減
<b>医療用医薬品</b>	<b>1,532</b>	<b>1,551</b>	<b>△1.2</b>	<b>△19</b>
フロモックス	273	286	△4.7	△13
クレストール	177	104	69.5	73
フルマリン	101	122	△17.0	△21
リンデロン等外用	96	100	△4.1	△4
クラリチン	96	90	7.1	6
塩酸バンコマイシン	81	106	△23.3	△25
オキシコンチン	77	66	16.4	11
イムネース	61	117	△47.8	△56
フィニバックス	29	25	14.8	4
アベロックス	15	19	△18.6	△4
イルベタン	12	-	-	12
ディフェリン	12	-	-	12
ピレスパ	2	-	-	2
<b>輸出・海外事業</b>	<b>186</b>	<b>63</b>	<b>196.2</b>	<b>123</b>
サイエル社	92	-	-	92
ドリペネム	35	4	759.4	31
<b>製造受託</b>	<b>57</b>	<b>58</b>	<b>△2.2</b>	<b>△1</b>
<b>一般用医薬品</b>	<b>52</b>	<b>56</b>	<b>△7.1</b>	<b>△4</b>
<b>診断薬</b>	<b>33</b>	<b>33</b>	<b>△2.2</b>	<b>0</b>
<b>工業所有権等使用料収入</b>	<b>368</b>	<b>320</b>	<b>15.1</b>	<b>48</b>
クレストール	343	298	15.0	45
<b>不動産賃貸・その他</b>	<b>44</b>	<b>58</b>	<b>△24.1</b>	<b>△14</b>
<b>合計</b>	<b>2,275</b>	<b>2,142</b>	<b>6.2</b>	<b>133</b>

## 営業利益(連結)

(単位:億円)

	20年度 実績	19年度 実績	対前年 UP率%	増減
売上高 (ロイヤルティ)	2,275 (368)	2,142 (320)	6.2 (15.1)	133 (48)
	31.2 (37.2)	32.0 (37.6)		
売上原価	709	685	3.4	24
売上総利益	1,565	1,456	7.5	109
	54.7	49.1		
販売費・一般管理費	1,245	1,052	18.3	193
販売・管理費	717	649	10.4	68
研究開発費	528	402	31.1	126
	14.1	18.9		
営業利益	320	403	△ 20.8	△ 83

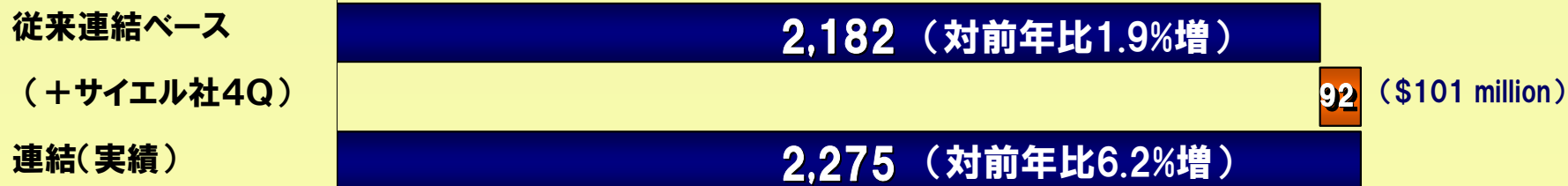
# サイエル社買収の影響

<2008年度業績>

(単位:億円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ サイエル社連結による影響額

売上高



営業利益







# 平成21年度 業績予測

# 平成21年度 業績予測(連結・単体)

(単位:億円)

	21年度 予 測	20年度 実 績	対前年 UP率%	増 減
<b>&lt;連結&gt;</b>				
売 上 高	2,840	2,275	24.8	565
営 業 利 益	600	320	87.4	280
経 常 利 益	580	320	81.2	260
当 期 純 利 益	350	156	123.5	194
<b>&lt;単体&gt;</b>				
売 上 高	2,255	2,067	9.1	188
営 業 利 益	495	362	36.6	133
経 常 利 益	495	379	30.5	116
当 期 純 利 益	310	238	29.9	72
<b>年間配当金</b>	<b>36円</b>	<b>28円</b>		

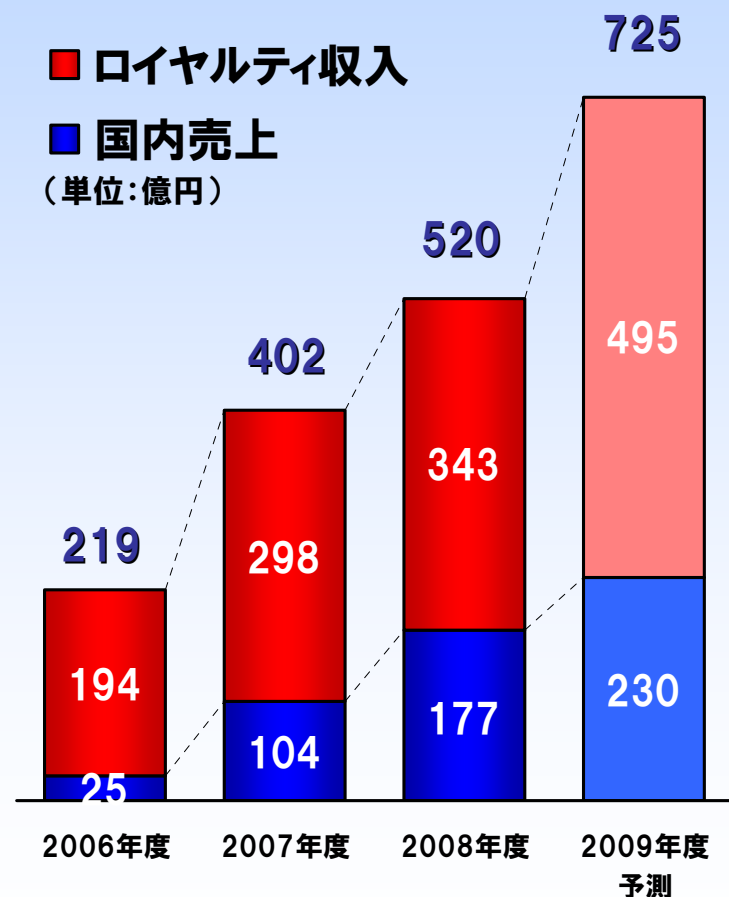
## セグメント別売上高(連結)

(単位:億円)

	21年度 予測	20年度 実績	対前年 UP率%	増減
<b>医療用医薬品</b>	<b>1,555</b>	<b>1,532</b>	1.5	23
フロモックス	240	273	△12.1	△33
クレストール	230	177	30.0	53
クラリチン	97	96	0.5	1
リンデロン等外用	95	96	△1.0	△1
フルマリン	90	101	△10.9	△11
オキシコンチン	88	77	14.4	11
塩酸バンコマイシン	65	81	△20.1	△16
フィニバックス	40	29	37.5	11
イルベタン	35	12	197.0	23
ディフェリン	32	12	172.7	20
イムネース	30	61	△50.8	△31
ピレスパ	20	2	-	18
アベロックス	18	15	16.4	3
<b>輸出・海外事業</b>	<b>583</b>	<b>186</b>	213.0	397
サイエル社	477	92	417.8	385
ドリペネム	50	35	41.9	15
<b>製造受託</b>	<b>64</b>	<b>57</b>	11.0	7
<b>一般用医薬品</b>	<b>50</b>	<b>52</b>	△4.2	△2
<b>診断薬</b>	<b>30</b>	<b>33</b>	△9.6	△3
<b>工業所有権等使用料収入</b>	<b>520</b>	<b>368</b>	41.0	152
クレストール	495	343	44.3	152
<b>不動産賃貸・その他</b>	<b>38</b>	<b>44</b>	△14.2	△6
<b>合計</b>	<b>2,840</b>	<b>2,275</b>	24.8	565

# クレストール<sup>®</sup>の拡大

## 国内売上・ロイヤルティ収入の拡大



## ● ロイヤルティ収入

・AstraZeneca社によるグローバルセールスの拡大

(単位: 十億ドル)

グローバル	06	07	08
売上高	2.0	2.8	3.6

## ● 国内販売

・販売シェアの順調な拡大

(単位: %)

	06	07	08			
			1Q	2Q	3Q	4Q
国内合計	1.8	7.8	11.3	12.7	13.9	15.6

(薬価ベース、IMSデータより)

◆ JUPITERおよびCOSMOS試験の結果により、更なる拡大へ

## 営業利益(連結)

(単位:億円)

	21年度 予 測	20年度 実 績	対 前 年 UP率%	増 減
売上高 (ロイヤルティ)	2,840 ( 520)	2,275 ( 368)	24.8 ( 41.0)	565 ( 152)
	26.8 (32.8)	31.2 (37.2)		
売上原価	760	709	7.1	51
売上総利益	2,080	1,565	32.8	515
	52.1	54.7		
販売費・一般管理費	1,480	1,245	18.8	235
販売・管理費	980	717	36.6	263
研究開発費	500	528	△ 5.3	△ 28
	21.1	14.1		
営業利益	600	320	87.4	280

# サイエル社が収益に貢献

<2009年度業績予測>

(単位:億円)

■ 売上高(連結) ■ 営業利益(連結) ■ 売上高(サイエル社) ■ 営業利益(サイエル社)

売上高



営業利益



2009年度想定為替換算レート(\$1) 95円

## サイエル社の堅調な業績

領域	2009年度における積極的な取り組み	売上(百万ドル)	
		2008年実績	2009年予測
循環・代謝領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>Nitrolingual Pumpspray</u>(狭心症)の成長とSular販売維持</li> <li>● 新たに<u>Clonidine XR</u>を承認申請し、高血圧治療薬における存在感を高める</li> </ul>	162	182
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>Fenoglide/Triglide</u>の販売維持</li> <li>● 新たに<u>PrandiMet</u>を上市したことより、2型糖尿病治療薬市場における<u>Prandin/PrandiMet</u>のシェアを拡大</li> </ul>	110	132
婦人科領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新製剤の上市による、妊婦用ビタミン剤市場における<u>Prenate Family</u>のシェア拡大</li> </ul>	59	84
小児科領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>Allegra OS/ODT</u>(アレルギー)、<u>Orapred ODT</u>(喘息)、<u>Twinject</u>(アナフィラキシー)の販売拡大</li> <li>● <u>頭じらみ治療薬</u>の上市および<u>エピネフリン改良型自己注射剤</u>および<u>Clonicef</u>(ADHD)の承認申請</li> </ul>	73	102
合計		404	500

## 国内営業強化の具体的取り組み

- 生産性を高めるための選択と集中
  - ◆ 急性期疾患から慢性期疾患へ更なるシフト
  - ◆ リソースを集中する施設、品目の絞込み
  - ◆ 病院への取組み強化
- 新薬の拡大
  - ◆ クレストール<sup>®</sup>
    - ・エビデンス(JUPITER、COSMOS試験結果等)に基づく更なる躍進
  - ◆ イルベタン<sup>®</sup>
    - ・国内エビデンス、及び長期投薬解禁(7月)に伴う納入・処方拡大
  - ◆ ディフェリン<sup>®</sup>ゲル: 潜在市場の掘り起こし
  - ◆ ピレスパ<sup>®</sup>: 世界初の抗線維化抑制剤の適正使用推進
  - ◆ オキシコンチン<sup>®</sup>: WHO方式の更なる普及、オキノーム剤形追加
  - ◆ フィニバックス<sup>®</sup>: 国内外エビデンスに基づく多剤耐性緑膿菌感染症等への挑戦



## 国内営業強化の具体的取り組み

### ● 国内市場のセグメント別対応の強化

#### ◆ 病院市場

- MR活動を補強・サポートし、攻略の仕組み作りを行う専任者(病院戦略責任者)の配置
- 循環器、がん疼痛領域における専門MRの強化・充実

#### ◆ 開業医市場

- 緩やかな領域制の試行:小児科・耳鼻科・皮膚科担当MRの配置

#### ◆ 広域調剤薬局への対応

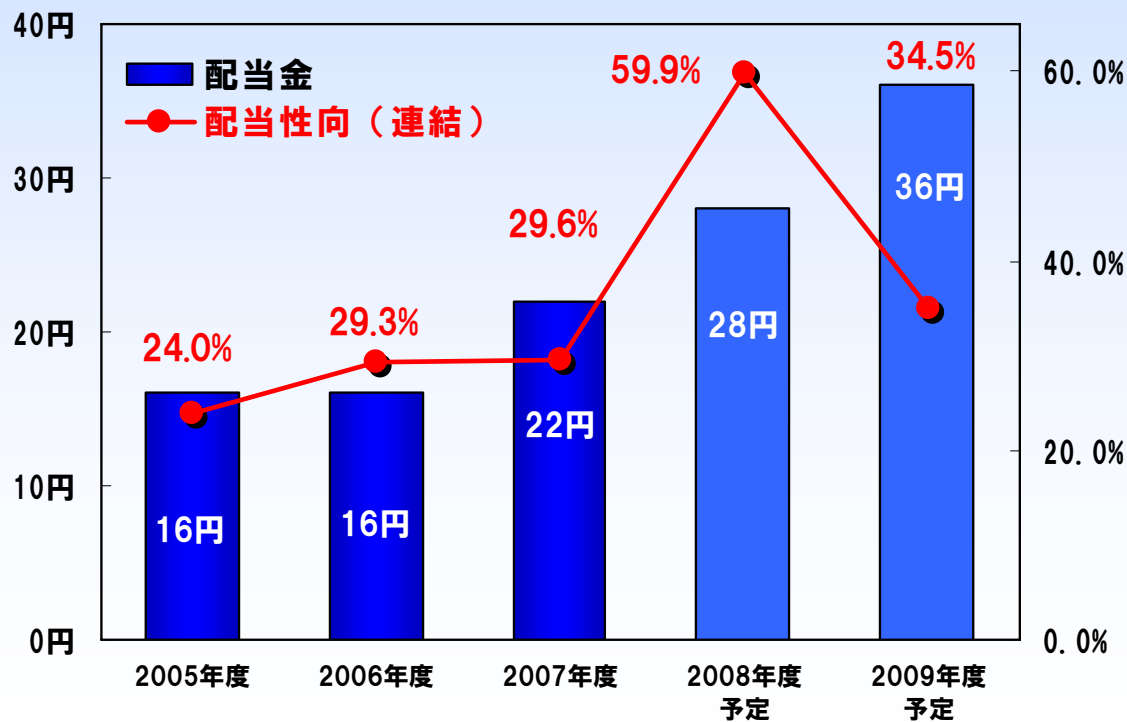
- 営業部内に専任部門を配置

### ● 人材管理の向上(営業リソース管理部の新設)

- ◆ 評価、人材配置、人材育成を体系的に見直し、人的リソースの最大化へ

## 配当政策について

- 配当については、今後も安定的に向上させていく
- 2008年度は、**1株当たり28円**の見通しに変更なし
- 2009年度の配当は**1株当たり36円**を予定





# パイプラインの状況

# 開発段階の進展および製造販売後臨床試験

- S-2367（NPY Y5受容体アンタゴニスト、肥満症）
  - 米国Ph IIb終了、追加Ph IIを準備中
- S-349572（インテグラーゼ阻害薬、HIV）
  - 海外Ph IIaでPOC獲得、Ph IIbを準備中
- S-0373（非ペプチド型TRHミメティック、脊髄小脳変性症）
  - 導出先のキッセイ薬品によりPh II開始
- S-444823（CB受容体アゴニスト、アトピー性皮膚炎；外用）
  - 国内でPh Iを開始
- クレストール®
  - COSMOS試験(国内)のIVUS解析により、冠動脈プラークの退縮を確認
  - JUPITER試験サブ解析により、静脈血栓塞栓症リスクの減少等を確認

## 開発の中止

- NS75A（GnRHアンタゴニスト、子宮筋腫）
  - エターナゼンタリス社(カナダ)から導入、日本化薬と国内共同開発
  - 中止理由：重点領域への開発リソースの集中

# パイプライン一覧 (2009年5月現在)



	Ph I/Ph IIa	Ph IIb	Ph III	申請	上市
<b>重点3領域</b>		S-013420 (細菌感染)	フィニバックス® (小児感染)	ドリペネム (US RTI)	ドリペネム (US/EU)
			フィニバックス® (用法・用量追加)	フロモックス® (新小児用細粒製剤)	フロモックス®細粒 (成人へ適応拡大)
	S-349572/S-265744/ S-247303 (HIV)		S-021812 (ペラミビル) (インフルエンザ)		フィニバックス® (2005年度) アベロックス® (2005年度)
<b>感染症</b>	S-297995 (オピオイド副作用緩和薬)		デュロキセチン (DNP)		オキノーム® (2006年度)
			S-811717 (オキシコドン注)		
<b>疼痛</b>		S-2367 (肥満)			クレストール® (2005年度)
		S-3013 (ACS)		(2008年7月発売)	イルベタン® (高血圧症)
<b>MS</b>	S-444823 (アトピー性皮膚炎)	S-777469 (アトピー性皮膚炎)			クラリチン® ドライシロップ (2007年度)
	S-555739 (アレルギー性鼻炎)				
	S-888711 (血小板減少症)	S-0139 (脳血管障害)		(2008年12月発売)	ピレスパ® (特発性肺線維症)
<b>フロンティア領域</b>				(2008年10月発売)	ディフェリン® (にきび)
	S-0373 (脊髄小脳変性症)			デュロキセチン (うつ)	→ (2009年度)
	S-222611 (悪性腫瘍)	NS75B (前立腺肥大)			セトロタイド® (2006年度)
<b>アレルギー</b>					
<b>その他</b>					

RTI: 呼吸器感染症, ACS: 急性冠動脈症候群,  
DNP: 糖尿病性神経因性疼痛

自社創製グローバル  
開発品

自社品

共同開発品

導出品

導入品

## サイエル社のパイプライン

